白熱灯スタンド

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕様

品番	適合電球
FI-4118	E26 普通電球　60Wx2

この取扱説明書のマークについて。

- ⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ● このマークについている説明文は、必ず守ってください。
- ⊘ このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取扱い上の注意

⚠警告

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★漏電による火災、感電事故の原因となります。

⊘ ベットやカーテンなどの燃えやすいものの近くで使用しないでください。
★火災の原因となる場合があります。

⊘ 布や紙などの燃えやすい物で覆ったり、被せたりしないでください。
★火災の原因となります。

⊘ 電源コードを無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
コードに物を載せたり、コードを踏んだりしないでください。
★コードが損傷して、感電事故や漏電による火災の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ 毛足の長いジュータンの上や不安定な物の上には設置しないでください。
★倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因となります。

⊘ 転倒時消灯スイッチをテープなどで固定しないでください。
★器具が倒れたときにスイッチが正しく働かず、火災の原因となります。

● 傷んだコード（被覆の傷や芯線の露出など）は、そのまま使用せず、直ちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

⊘ カバーの放熱穴や隙間から、異物を差し込まないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

● この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

● AC100V専用です。AC100V以外のの電圧では絶対に使用しないでください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災や感電事故のの原因となることがあります。

⊘ ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

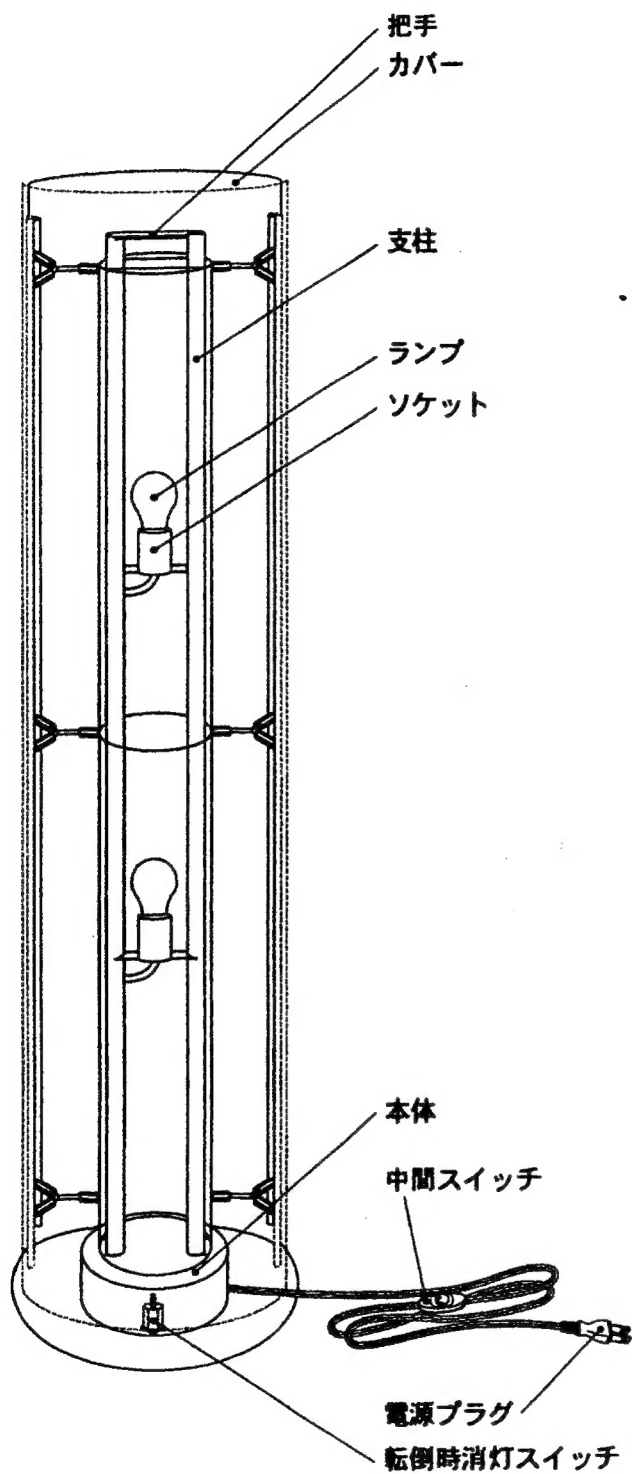
● 電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
★コードが損傷して、感電事故や漏電による火災の原因となります。

● 外出するときや長期間使用されない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。
★火災の原因となる場合があります。

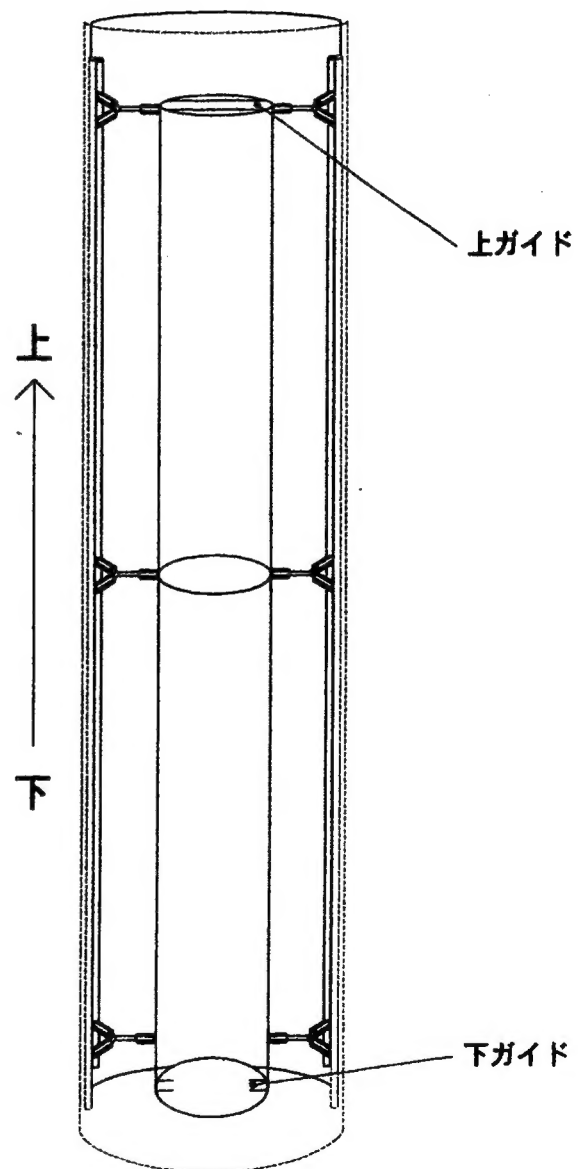
⊘ ストーブなど熱を発する物の近くで使用しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ コードは余裕をみて使用してください。
★コードを無理に引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因となる場合があります。

各部の名称

■ 器具構成図

■ 付属品

普通電球（ホワイト）—— 60W×2

取扱説明書（本書）———— 1枚

カバー構成図

● 組み立て方 ⚠ 警告 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ●器具の組み立ては、説明書に従い正しく行ってください。
★組み立てに不備があると、カバー脱落などにより火災の原因となる場合があります。

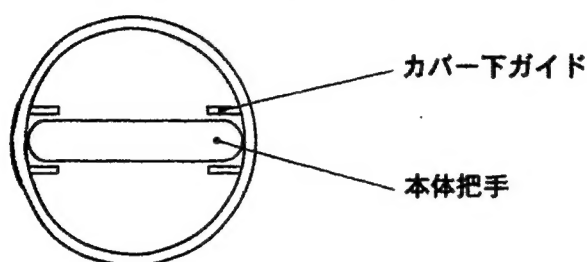
1.スタンド本体を、平らな安定した場所に置きます。

2.電球をセットします。

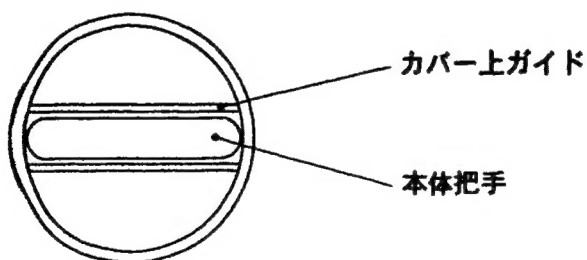
⚠ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

3.カバーを取り付けます。

⚠ 注意 ●カバーの上下方向に気をつけてください。『カバー構成図』をご参照ください。
★無理に取り付けると、カバーや器具の破損等の原因となります。

①カバーの下ガイドを本体支柱の把手部分に合わせます。

②本体の上側からカバーをゆっくりと降ろします。

⚠ 注意 ●カバーは横から確認しながらセットしてください。
★無理に取り付けると、ガイド変形等の原因となります。

③本体の把手にカバーの上ガイドを合わせいれます。

4.設置する場所に移動して、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意 ●移動する際は、支柱把手部分を必ずお持ちください。
★把手以外の場所を持つと、カバーや器具の破損等の原因となります。

🚫 ●毛足の長いジュータンの上や不安定な物の上には設置しないでください。
★倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因となります。

❗ ●電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
★コードを無理に引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる
火災の原因となる場合があります。

● スイッチ操作

中間スイッチにて ON-OFF 操作を行います。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

❗ ● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後のランプは熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。 ★火傷の原因となります。
● 濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。

⃠ ● 電球は乱暴に扱わないでください。 ★電球が割れてけがをする恐れがあります。
● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ ランプの交換

1.スイッチを切ります。

⚠ 注意
⃠ 電球交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2.カバーを取り外します。

⚠ 注意 ●カバーのガイドを持って、ゆっくりと上へ引き上げて外します。
★無理に外すと、カバーや器具の破損等の原因となります。

3.電球を交換します。

⚠ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

4.カバーを取り付けます。

⚠ 注意 ●『組み立て方　3.カバーを取り付けます。』をご参照ください。
★無理に取り付けると、カバーや器具の破損等の原因となります。

❗ カバーにヒビが入ったり、
一部が欠けている場合には、ただちに
新しいカバーと交換してください。

■ お手入れのしかたについて

①電源を切ります。
②ハタキ、柔らかいハケ、ブラシなどでホコリを落とします。
③柔らかい布に水を浸し、よく絞ってからプリーツの目に沿って汚れを拭き取ります。
★必ずプリーツの目に沿って拭いてください。プリーツの型くずれ等の原因となります。
④汚れを落とした後、乾いた布で水分を拭き取ります。

■ アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。